

地震

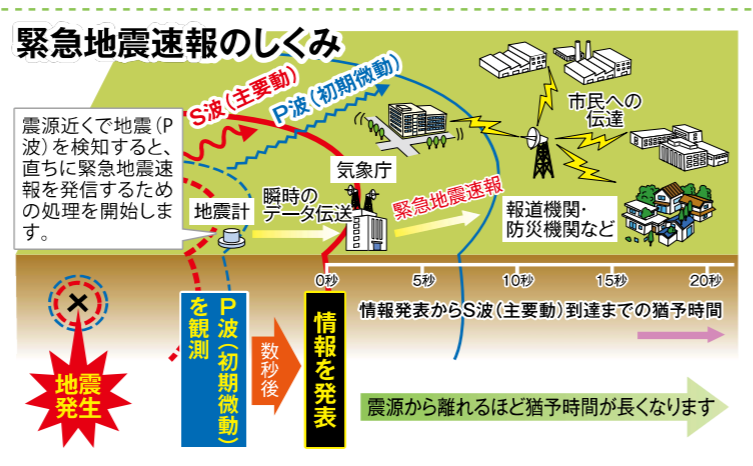
まず、身の安全を確保しましょう。大きな地震では、家具の転倒や建物の倒壊のおそれがあります。また、大きな地震以外にも、国内では震度4以上の地震が少なくとも年間30回程度発生しています。「地震はいつどこで起きるかわからない」ことを肝に銘じておきましょう。

●緊急地震速報が出されたら

周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保する!

緊急地震速報は地震発生後に震源近くで地震波を観測し、強い揺れがはじまる直前にお知らせする情報です。最大震度5弱以上の発生が推定される場合に、テレビやラジオ、緊急速報メールなどを通じて、もうじき揺れることをお知らせします。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。その短い間に、自分の身を守ることを最優先に行動しましょう。



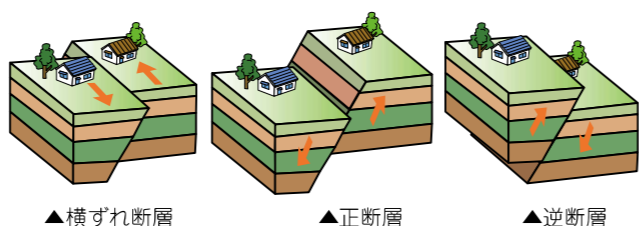
震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

●地震の起こる仕組み

活断層地震

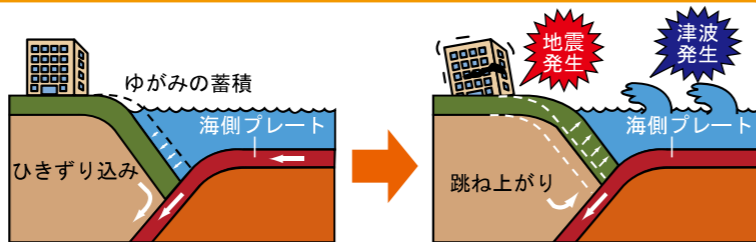
地下にある岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで内部にゆがみのエネルギーがたまり、これが限界に達したときに、ある面(断層面)を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。

筑紫野市では、**警固断層帯**による活断層地震が発生するおそれがあります。(詳しくは53ページを参照)



海溝型地震

海側のプレート(赤色)が陸側のプレート(緑色)の下に潜り込むことで境界にゆがみのエネルギーがたまり、これが限界に達したときにプレートが元に戻ろうとして跳ね上がり、地震が起こります。



●地震の揺れと想定される被害

※出典:気象庁「気象庁震度階級の解説」

震度4	●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	震度6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本などが落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度6強	●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものがある。倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
震度5強	●物につかまらなると歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。	震度7	●耐震性の低い木造建物は、傾くものがある。倒れるものが増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

地震に関する情報入手

●地震情報(気象庁)



緊急地震速報は、気象庁から報道機関や防災機関などへ通知されます。「一般向け」緊急地震速報は、テレビ・ラジオから得ることができます。携帯電話やインターネットを通じて情報の提供が行われています。

●住宅耐震化(筑紫野市)



●住宅の耐震補強について

耐震診断の結果、耐震性に問題があった場合は補強工事が必要となってきます。その際には補強工事費の一部に対し補助する制度があります。下記に耐震補強工事の主な方法を示していますので、我が家に最も適した工事方法を選び、耐震補強を行いましょう。



耐震補強工事の一部紹介

屋根の軽量化

建物の基礎を補強

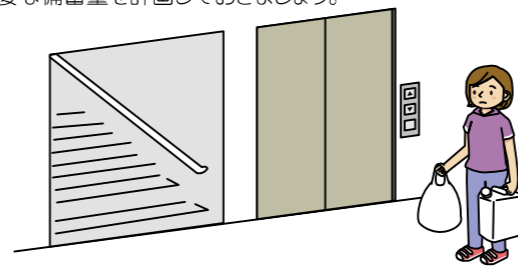
腐朽部分を補強

マンション特有の注意点

マンションでは、建物構造や多くの人が一緒に生活する環境から、特に地震時のマンション特有の二次災害を考慮して、日頃から備えておく必要があります。

●エレベーターの停止

地震によりエレベーターが長時間停止すると、階段での移動を余儀なくされます。水や食料などの買い出しが困難となるため、日頃から必要な備蓄量を計画しておきましょう。



●通路・非常口・非常階段

避難の妨げにならないよう通路・非常口・非常階段などの共有部分は、点検しておきましょう。

また、一斉にみんなが避難した場合、ケガをしないよう階段や狭い場所がないか確認しておき、二次災害にならないように落ち着いて行動しましょう。



●トイレ、ごみの問題

地震で配管・排水管が破損すると、トイレを使うことができません。災害用携帯トイレなどを準備し、ごみの保存方法など併せて衛生面に配慮して、事前に一定期間の保存ができるよう確認しておきましょう。



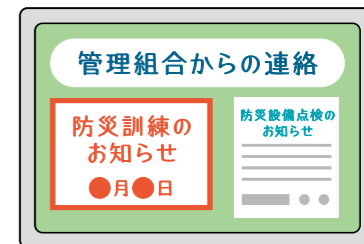
●ベランダ

ベランダの避難ハッチ(非常脱出口)の使用を確認しておきましょう。避難ハッチの周囲に物を置かないようし、避難路を確保しましょう。



●自助・共助の活動

防災設備の点検や防災訓練のお知らせなど、管理組合からの連絡に注意し、日頃からみんなで助け合い、自主防災活動に参加しましょう。



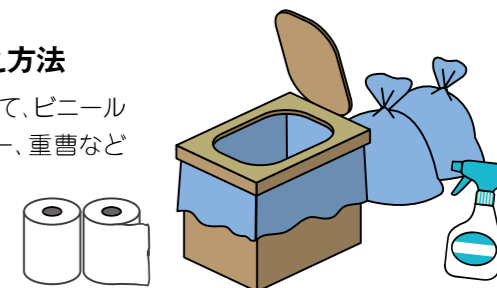
水洗トイレが使えない場合の対応策

●簡易トイレや携帯トイレを使用する。

配管に被害がないことが確認されるまで水は流さない。「簡易トイレ」や「携帯トイレ」を使用する。使用後の袋など各戸のベランダ等に一時保管し、決められたごみ出しのルールを確認しましょう。

●簡易トイレの代替え方法

簡易トイレの代わりとして、ビニール袋や新聞紙、消臭スプレー、重曹なども用意しておく。



●日ごろから、地震が起きたときの行動をイメージしておきましょう。

地震発生

**落ち着いて！
まずは自分の身の安全を確保しましょう。**

1〜2分

⚠️揺れがおさまったら、火元を確認する。

コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。
火が出ていたら消火する。



3分

⚠️靴をはき、ガラスの破片などから足を守る。

⚠️ドアや窓を開けて逃げ道を確保する。



家族の安否確認

⚠️ラジオなどで正しい情報を確認

間違った情報やうわさなどにまどわされないように！



⚠️家を出る前に電気のブレーカーを切る。

土砂災害のおそれがある場合はすぐに避難する

5分

⚠️避難途中の注意！

ブロック塀やガラスに注意する。
車は使用せず、徒歩で避難する。

5〜10分

余震に注意！

崩れる危険性がある建物には近寄らないこと



⚠️隣近所の安全を確認

一人暮らしの高齢者には積極的に声をかけ、安否確認する。必要であれば避難の補助を行う。



⚠️消火・救出活動

隣近所で協力して消火や救出活動を行う。

10分〜数時間

⚠️生活必需品は備蓄でまかなう

災害発生から3日程度は、外部からの応援は期待できない。



⚠️災害情報、被害情報の収集

市の広報に注意する。

1〜3日くらい

避難生活では

⚠️自主防災組織を中心に行動する。集団生活のルールを守る。助け合いの心で！

●外出中に地震が起きたら

スーパー・デパート

- ショーケースの転倒、商品の落下、ガラスの破片に注意する。
- 柱や壁際に身を寄せ、衣類や手荷物など身近なもので頭を守る。
- 店員の指示に従って行動する。



路上にいるとき

- ブロック塀、自動販売機には近づかない。
- 屋根瓦やガラスの破片などの落下物に注意。
- 倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意。



電車・駅のホーム

- 将棋倒しや網棚からの落下物に注意。つり革や手すりにしっかりつかまり、乗務員の指示に従う。
- 座っている場合は足をふんばって上体を前かがみにして、手すりにつかまる。
- ホームでは、近くの柱に体を寄せて、構内アナウンスに従う。



海岸や河口付近

- 津波はいつ来襲するかわからないので、海岸など海に近い場所にいるときに強い地震を感じたら、津波警報が出る前でもすぐに高台など安全な場所に避難する。
- 津波は繰り返し押し寄せる。テレビ・ラジオなどで正しい情報入手し、警報が解除になるまでは注意する。
- 東日本大震災では大津波が川をさかのぼり、流域に大きな被害をもたらしました。避難する時は、絶対に川の方へ行かない。



地下街

- 耐震構造になっており、比較的安全と言われている。壁や大きな柱に身を寄せて揺れがおさまるのを待つ。
- 火災が発生したらハンカチなどで鼻と口をおおい、壁づたいに体を低くして地上に避難する。



地震でエレベーターが停止!

- エレベーターの中にいて地震だと感じたら、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りる。
- [注意]閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部との連絡をとり救出を待つ。



車の運転中

- ハンドルをしっかり握り、少しずつスピードを落として道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで車外に出ず、カーラジオで情報を確認する。
- 車を離れるときは窓を閉め、キーをつけたままにする。ドアロックもしない。
- 車内にある車検証や貴重品などを持ち出す。



山やがけ付近

- 揺れを感じたら、できるだけ遠くに離れ、平らで安全な場所へ避難する。
- 余震により土砂崩れが発生することがある。また、緩んだ地盤が降雨で土砂崩れを起こすこともある。安全が確認されるまで、山やがけには近づかない。

